TOSHIBA

E&Eの東芝

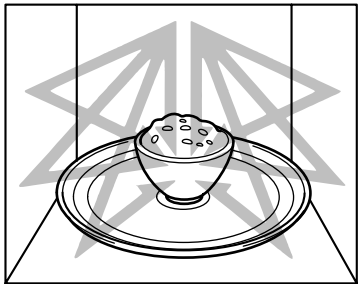
東芝電子レンジ 家庭用

形名 ER-VS11 取扱説明書・料理集

- このたびは東芝電子レンジをお買い上げいただきまして、まことにありがとうございました。
- この商品を安全に正しく使用していただくために、お使いになる前にこの取扱説明書をよくお読みになり、十分に理解してください。
- お読みになったあとはいつも手元においてご使用ください。
- 保証書を必ずお受け取りください。

加熱方法と特長

レンジ強

料理のあたためや、生からの調理に使います。
食品を中と外から同時にすばやく加熱します。

レンジ弱・(生解凍)

弱めの火加減の必要な、生ものの解凍や煮込むものなどに使います。
食品を中と外からじんわり加熱します。

もくじ

ご使用の前に

調理の操作のしかた

ご使用の後に

料理集

こんなときには

仕様・保証

安全上のご注意

- ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ正しくお使いください。
- ここに示した注意事項は、安全に関する重大な内容を記載していますので必ず守ってください。
- 表示と意味は次のようになっています。

危険	誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険が差し迫って生じることが想定される内容を示します。
警告	誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示します。
注意	誤った取扱いをすると、人が傷害を負ったり、*物的損害の発生が想定される内容を示します。

*物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペットにかかわる拡大損害を示します。

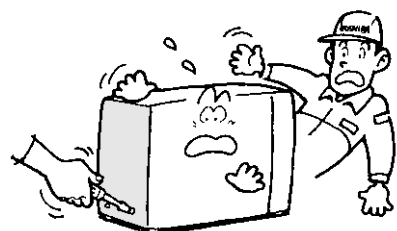
図記号の例

感電注意	△は、注意(危険、警告を含む)を示します。 具体的な注意内容は、△の中や近くに文章や絵で示します。 左図の場合は「感電注意」を示します。
分解禁止	⃠は、禁止(してはいけないこと)を示します。 具体的な禁止内容は、⃠の中や近くに文章や絵で示します。 左図の場合は「分解禁止」を示します。
プラグを抜く	●は、強制(必ずすること)を示します。 具体的な強制内容は、●の中や近くに文章や絵で示します。 左図の場合は、「差込みプラグをコンセントから抜くこと」を示します。

ご使用のまえに

⚠危険

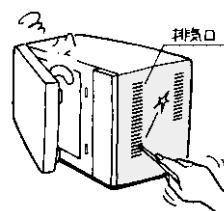
分解・改造・修理(※)をしないこと

火災・感電・けがの原因になります。
※修理は、お買い上げの販売店または東芝家電修理ご相談センターにご連絡ください。

分解禁止

吸気口、排気口などにピンや針金などの金属物または異物、指を入れないこと

感電・けがの原因になります。
もし、異物などが中に入ったときは、使用を中止し、お買い上げの販売店または東芝家電修理ご相談センターにご連絡ください。

禁　止

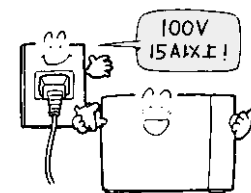
⚠警告

電源は、交流100V(ボルト)で、定格15A(アンペア)以上のコンセントを単独で使用すること

交流100V以外で使ったり、コンセントを他の器具と同時に使ったり、延長コードを使うと火災・感電の原因になります。

コンセントを単独に使用

電源コードや差込みプラグが傷んだり、コンセントの差し込みがゆるいときは使用しないこと

火災・感電の原因になります。
修理は、お買い上げの販売店または東芝家電修理ご相談センターにご連絡ください。

禁　止

電源コードや差込みプラグを、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、たばねたり、重い物をのせたり、挟み込んだりしないこと

電源コードが破損し、火災・感電の原因になります。

禁　止

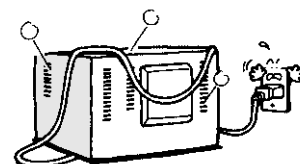
差込みプラグの刃・刃の取付け面に、付着したほこりはふき取ること

ほこりが付着すると火災の原因になります。

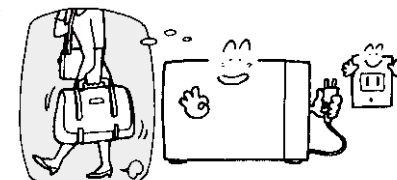
ほこりをとる

⚠注意

電源コードや差込みプラグは、排気口や温度の高いところに近づけないこと

火災・感電の原因になります。

禁　止

長期間、使用しないときは、差込みプラグをコンセントから抜くこと

絶縁劣化により漏電火災の原因になる場合があります。

プラグをコンセントから抜く

差込みプラグをコンセントから引き抜くときは、差込みプラグを持って引き抜くこと

コードを持って引き抜くとコードが破損し、火災・感電の原因になります。

プラグを持って抜く

交流100V(ボルト)以外や、指定された電源周波数以外では使用しないこと

指定された電源電圧及び周波数以外で使用すると発火の原因になります。
電源周波数は本体の定格銘板に指定してありますので確認してください。

禁　止

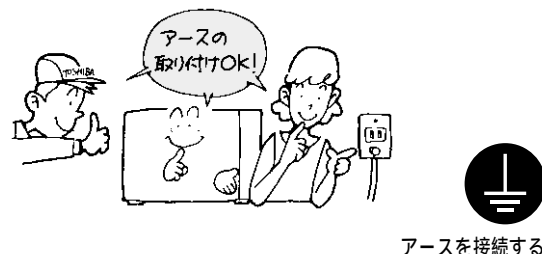
(つづく)

安全上のご注意（つづき）

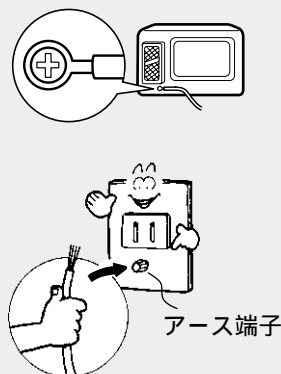
据え付けるとき

⚠警告

アースを、確実に取り付けること
アースを、取り付けないと故障や漏電のときに感電する原因になります。
アースの取り付けは販売店にご相談ください。

アースを接続する

アース線の接続について

アース線は、本体裏側のアースねじに取り付けてください。

アース端子付コンセントを使う場合
①アース線がアースねじにしっかり接続していることを確認する。
②アース線先端の皮をむき、芯線部をコンセントのアース端子に確実につなぐ。

アース端子

アース端子付きコンセントがない場合
アース棒（別売り）によるアースを行ってください。
※アース棒（部品コード32582118）は別売りです。お買い上げの販売店に依頼しお求めのうえアース工事（電気工事士資格者によるD種接地工事）をしてください。

次の所には接続できません。
- 水道管…硬質のビニール管を使用しているものが多く、アースができません。
- ガス管…爆発・引火の恐れがあります。
- 電話線のアースや避雷針…落雷のとき感電の恐れがあります。

次のような場所に据え付ける場合は、必ずアース工事（電気工事士資格者によるD種接地工事）を依頼してください。
- 土間や洗い場の床などの水気のある所
- 地下室など湿気のある所
- 洗い場所の近くなどの水気のある所
- その他水気や湿気のある所

漏電しゃ断器について

- **水気の多い所に据え付ける場合は、アースのほか、さらに漏電しゃ断器を設置することが義務づけられています。くわしくは、お買い上げの販売店か、電気工事店にご相談ください。**

⚠警告

燃えやすいもの、熱に弱いものを本体に近づけないこと
焦げや、火災の原因になります。
たたみ・じゅうたん・テーブルクロスなどの上に置いたり、カーテンなどを近づけないでください。

禁　止

⚠注意

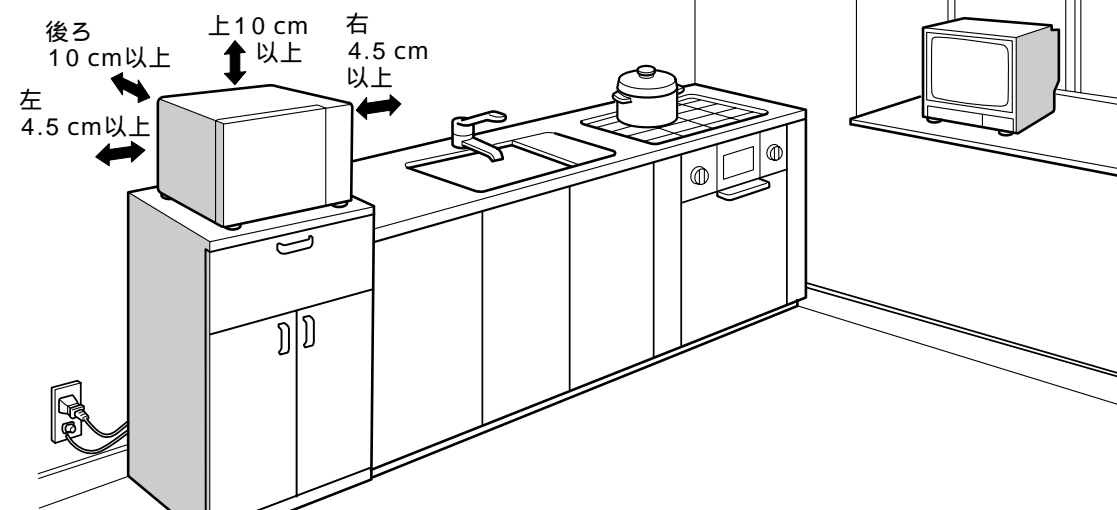
壁との間をあけて置くこと
過熱し火災の原因になります。
右・左・上・後ろのいずれか１面を開放して設置してください。

壁との間をあける

水のかかるところや火気の近くでは使用しないこと
火災・感電の原因になります。

禁　止

不安定な場所に置かないこと
落ちたり、倒れたりして、けがをする原因になります。もし地震などで転倒・落下した場合は、そのまま使用せずお買い上げの販売店に点検を依頼してください。本体の落下・転倒を防ぐために転倒防止金具（1）が別売りされています。販売店にご相談ください。
（部品コード　32582136）

禁　止

お願い

テレビ・ラジオから3m以上離す
雑音や、映像の乱れを防止するために受信感度の弱い場所はさらに雑音が小さくなるまで離してください。

熱や、蒸気から離す
保温釜・ポットなどの蒸気が、本体や操作部にかからないようにしてください。

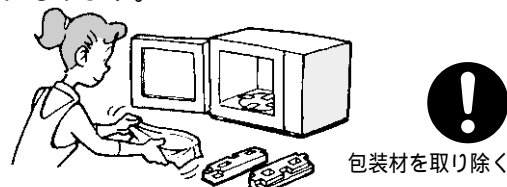
本体の移動の際は気をつけて
電子レンジは構造上、操作部側が重くなっています。移動の際は、すべったり、落として手や足にけがをする恐れがありますので本体の据え付け・移動の際は気をつけてください。

（つづく）

据え付けるとき（つづき）

⚠警告

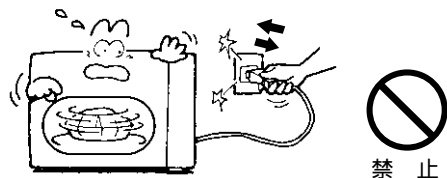
使用前に、包装材はすべて取り除くこと
取り除かないと運転中に発火し、火災・やけどの原因になります。

包装材を取り除く

包装用ポリ袋は、幼児の手の届かない所に保管または廃棄すること
頭からかぶるなどすると、口や鼻をふさぎ窒息する原因になります。

使用するとき

⚠警告

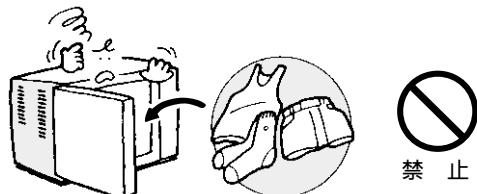
調理中に、差込みプラグを抜き差ししないこと
調理中は、十数アンペアの大電流が流れていますので差込みプラグを抜き差しすると、火花が発生し、火災・感電の原因になります。

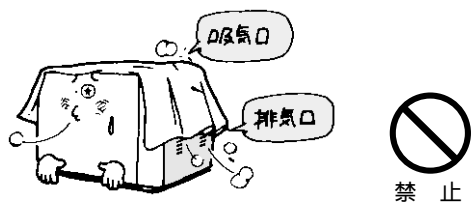
禁　止

子供だけで使わせたり、幼児の手の届くところで使わないこと
感電・けが・やけどの原因になります。

禁　止

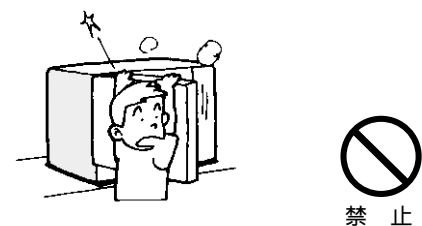
⚠注意

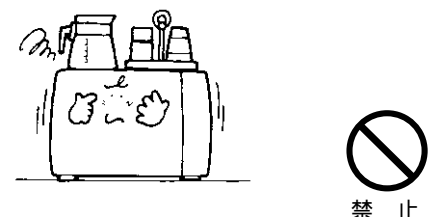
衣類・ふきん類の乾燥、食品の乾燥など、調理以外の目的には使用しないこと
過熱・異常動作して火災の原因になります。

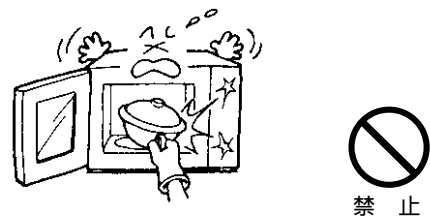
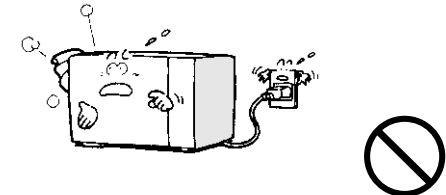
禁　止

排気口や、吸気口をふさがないこと
内部の温度があがり、火災の原因になります。

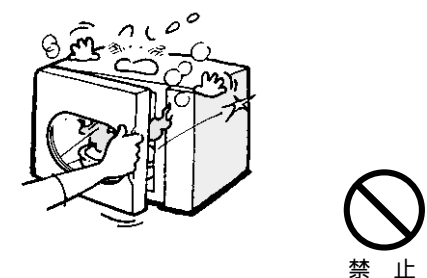
禁　止

⚠注意

とびらや、庫内に無理な力や衝撃を加えないこと
変形したところから電波がもれ、人体に障害をあたえる恐れがあります。また、とびらにぶらさがると、本体が倒れて、けがをする原因になります。

禁　止

本体の上に、ものを置いたり、布などをかぶせたりしないこと
置いたものが過熱し、変形・焦げの原因になります。また、発火し火災の原因になります。

禁　止

庫内や、回転皿（ガラス製）に物をぶつけたり、衝撃を加えないこと
破損したり、落下したりして、けがの原因になります。
容器や、茶わんの出し入れのときは、回転皿のふちに当たらないようにしてください。

禁　止

とびらに、ものをはさんだまま使用しないこと
電波がもれ、人体に障害をあたえる恐れがあります。また、はさんだものが発火すると、火災の原因になります。

もし、庫内で食品が燃えたときは、とびらを開けないこと
とびらを開けると勢いよく燃え、火災の原因になります。

禁　止

● **食品が燃えたときは次の手順で処置してください**
①とびらを閉めたままつまみをもどし、運転を停止してください。
②差込みプラグをコンセントから抜いてください。
③本体から燃えやすいものを遠ざけ、鎮火するのを待ってください。
④鎮火しないときは、水か消火器で消火してください。
● そのまま使用せずに販売店に点検を依頼してください。

（つづく）

⚠注意

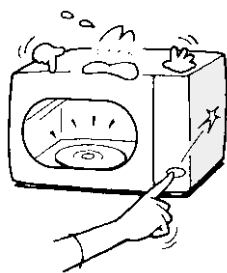
庫内が、カラのまま調理しないこと

- 本体や庫内が異常に加熱され、高温になり、やけどの原因になります。
- また、長時間加熱後や、少量の食品加熱後も庫内が熱くなり、やけどの原因になりますので終了直後は庫内に触れないでください。

禁　止

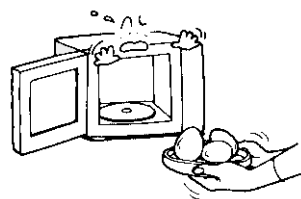
卵は、そのまま加熱しないこと

電子レンジで卵を加熱すると、内部も、同時に急激に加熱され膨張します。殻や、卵黄膜によって密閉状態となっているため一気に破裂して、やけどをする原因になります。また、取り出した後に突然破裂することもあります。

- 卵はよく割りほぐしてから加熱してください。
- ゆで卵は作らない、あたためもしないでください。

禁　止

飲み物（コーヒー、牛乳、水など）は、加熱する前にスプーンなどで、よくかきまぜること

ふきこぼれたり、取り出すときの振動で、突然沸騰し、飛び散ってやけどの原因になります。（加熱した後は、少し時間をおいて取り出してください。）

加熱前によくかきまぜる

生クリームなど粘りや油脂分の多い液体は加熱しないこと

取り出すときなどに突然沸騰し、飛び散ってやけどの原因になります。

禁　止

ラップをはずすときは、高温の食品や容器に直接手を触れないこと

高温になっており、やけどの原因になります。

禁　止

缶詰、びん詰、レトルト食品、真空パック入り食品は移し変えること

また、鮮度保持剤（脱酸素剤）は取り除いてから加熱すること。
発火・破裂し、けが・やけどの原因になります。

食品を移し変える

加熱しすぎないこと

少量の食品（ポップコーン、ミックスベジタブルなど）、乾物などは燃えたり、回転皿（ガラス製）やガラス容器が熱くなり割れたり、溶ける原因になります。

禁　止

密封性の高い容器のふたやせんをはずし、皮や殻のある食品は、切れ目や割れ目を入れること

破裂して、けが・やけどの原因になります。

ふたをとる
殻に切れ目を入れる

アルミホイル、金属容器、金串は使わないこと

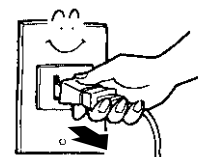
火花が発生し、とびらのガラス割れなどの原因になります。

禁　止

お手入れのとき

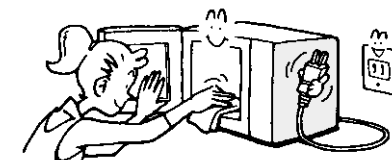
⚠警告

お手入れのときは、差込みプラグをコンセントから抜くこと

感電の原因になります。
手がぬれているときは、よくふいてから差込みプラグを抜き差ししてください。

プラグを抜く

⚠注意

本体の掃除は、差込みプラグを抜き本体が冷めてから行うこと

感電や、やけどをする恐れがあります。

プラグを抜きさめてから

食品や、肉汁などで汚れたままにしないこと

バターやチーズ等、油の多い食品が庫内に付着したまま使用しますと、発煙や発火の原因になります。

- 付着した場合は、本体が冷めてから必ずふきとってください。

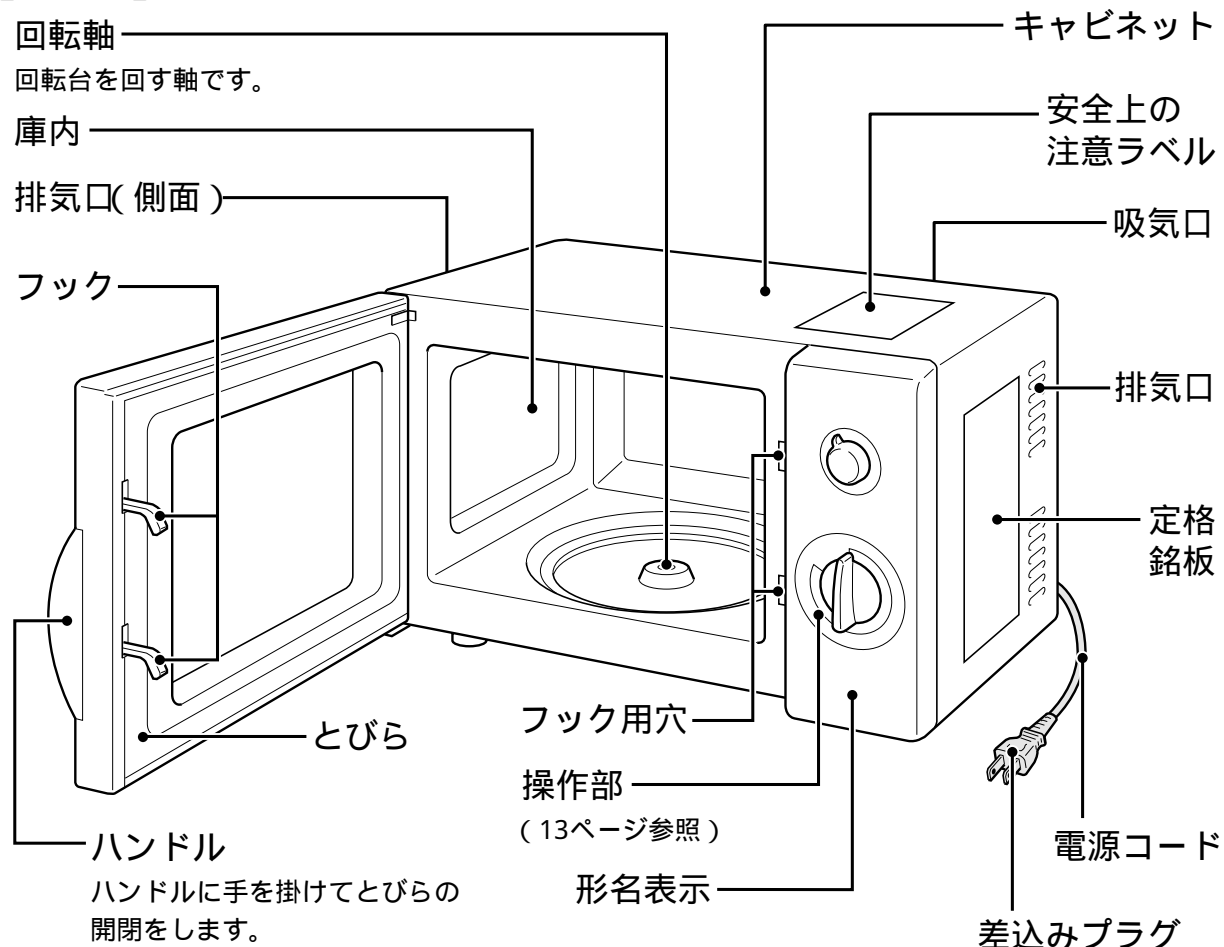
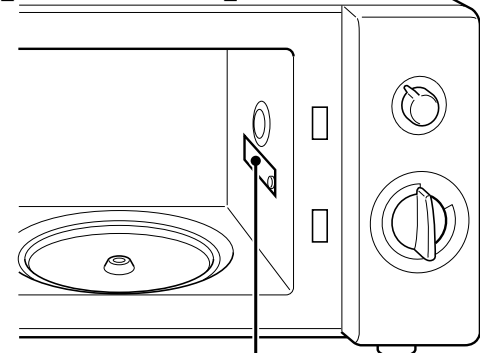
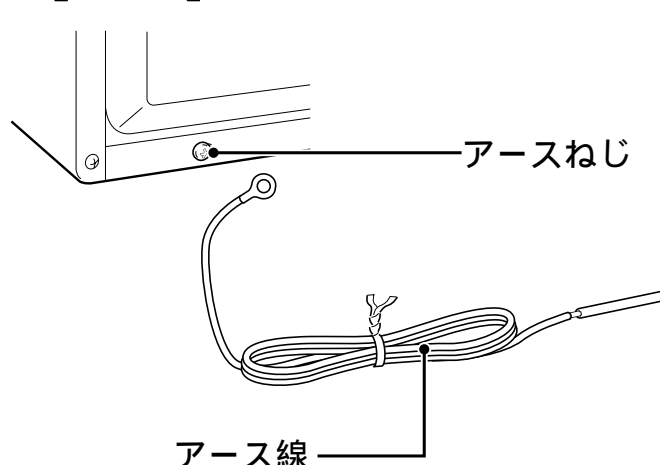
禁　止

お願い

ミックスベジタブルの少量での解凍加熱はしないでください。
火花の発生や故障の原因になります。

禁　止

各部のなまえとはたらき

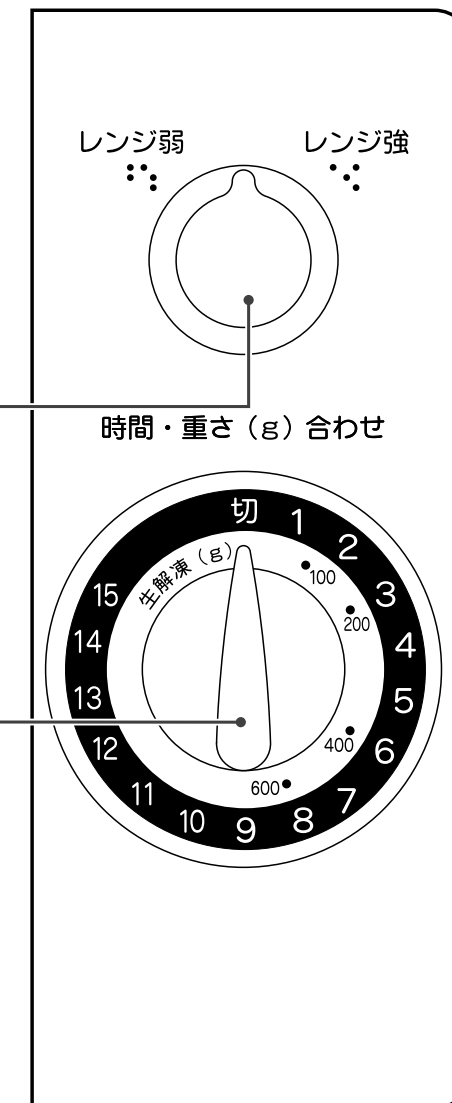
本　体

[庫内側面]

[背面]

操作部

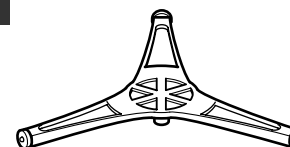
切換つまみ

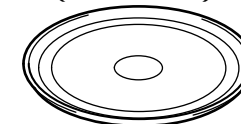
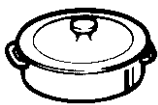
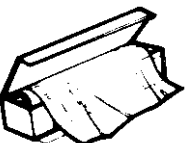
調理に合わせて、つまみを回して切換えます。

- **レンジ強**
  生からの調理・解凍あたため・料理のあたためのとき使います。
  料理集を参照してください。
- **レンジ弱・生解凍**
  煮込むもののときや、生ものの解凍に使います。

つまみ

調理時間の設定、生解凍食品の重さ合わせに使います。
とびらを閉じたまま、つまみを回すと調理が始まります。
途中で調理を止めるときは、つまみをもとにもどすか、とびらを開いてください。

付属品

回転台　1枚

必ず回転皿をのせて使用します。

回転皿　1枚
（ガラス製）

強い衝撃を与えると割れ、カケの原因になります。
特に容器や茶わんの出し入れの際は気をつけてください。

点字について　一部の操作キーには点字表示が入っています。キーの下に表示しています。

弱（ジャ）　強（キョ）

使える容器・使えない容器

使用できる容器

種類	容器	説明
耐熱ガラス容器	キャセロール カスタードカップ ソースパン ボール	耐熱性の高いガラス容器は電子レンジに最適です。 ●ただし急冷・急熱で割れることがあります。
陶磁器	茶碗 どんぶり 皿 土なべ	日常ご使用の陶磁器はあらゆる料理のあたため直しや調理にご使用になれます。 ●ただし、金粉、銀粉、金・銀箔使用の容器は使わないでください。 火花が飛ぶことがあります。
耐熱性のあるプラスチック容器（ポリプロピレン容器など）		耐熱温度が140°C以上のものは使えます。 ●油分の多い食品など高温になるものには使えません。 また、ふたには熱に弱いものがありますので、はずしてお使いください。
耐熱性のあるラップ類		耐熱温度が140°C以上のものは使えます。 ●油分の多い料理など、食品が高温になるものには使えません。また、ポリエチレン製のラップは溶けて燃えることがありますので使えません。

使用できない容器

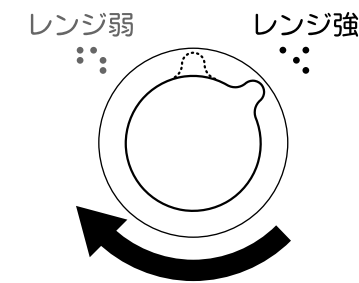
種類	容器	説明
金属容器		電波を反射し調理ができません。
アルミホイル		容器のふたや調理品に敷いたり巻いたりするときは、庫内壁面やとびら内側のガラスに触れないようにして
あんだ金網・金串		火花がとぶことがあります。
紙・木・竹製の容器		長時間の使用や針金等を使っているものは、焦げたり、燃えたり、スパークすることがあります。
ガラス容器		耐熱性がないので割れます。 特にカットグラス、強化ガラスなどガラスの厚みの変化が大きなもの、ひずみのあるものは使えま
漆器		耐熱性がないので、ぬりがはがれたり、ひび割れを起こすことがあります。
一般（プラスチック容器）		●ポリエチレン ●スチロール ●フェノール ●メラミン ●ユリアなどの樹脂 耐熱温度が140°Cより低いものは、発熱したり破損することがあります。

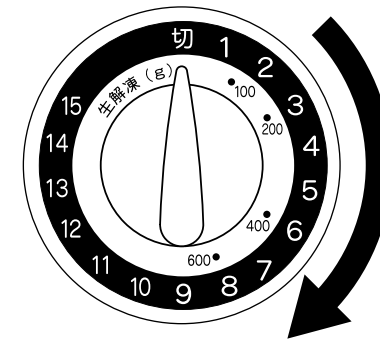
●耐熱温度は容器に表示されている家庭用品品質表示法の表示をご覧ください。

レンジ（強・弱）

例:レンジ強（500W）で3分調理するとき

1 食品を庫内に入れる

2 レンジ強に切換つまみを合わせる

3 つまみを回し、調理時間を合わせる

▶庫内灯が点灯し加熱をはじめる。
※２分以内の短い時間に合わせるときは、いったん右に余分に回してから、逆に　戻して合わせてください。

調理終了!!

▶チーンと鳴る。

お願い

- 調理時間は、料理の種類や分量によって異なります。
- 調理の途中でとびらを開けるのは自由です。とびらを開けることにより、電源が切れるしくみになっています。
- とびらを開けたあと、続けて調理したいときは、そのままとびらを閉じると残りの調理が始まります。

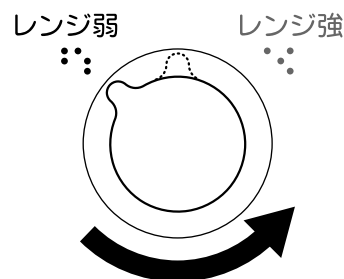
生解凍

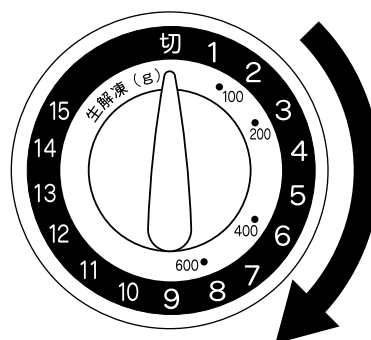
まず、食品の重さを計ります。

例：肉類を解凍するとき

1 食品を庫内に入れる

●発泡トレイのままで解凍できます。
詳しくは料理集22ページを参照ください。
●ラップは、はずします。

2 レンジ弱に切換つまみを合わせる

3 つまみを回し、重さ(g)を合わせる

▶庫内灯が点灯し加熱を始める。

解凍終了!!

▶チーンと鳴る。

お願い

●「生解凍」は必ず完全凍結したものをお使いください。一度に解凍できる食品の重さは600gまでです。発泡トレイを使わない場合は、回転皿にペーパータオルを敷き、その上にラップや袋から出した食品をのせて解凍します。

お手入れのしかた お手入れはすぐにこまめにがポイントです

⚠警告

お手入れのときは差込みプラグをコンセントから抜くこと
感電の原因になります。
手が、ぬれているときは、よくふいてから差込みプラグを抜き差ししてください。

⚠注意

本体の掃除は、差込みプラグを抜き本体が冷めてから行うこと
感電や、やけどをする恐れがあります。

●**長時間ご使用にならないときは、差込みプラグをコンセントから抜き、各部をお手入れしてから、湿気や、ほこりがかからないようにして、おしまいください。**

庫内・とびらの内側

●かたくしぼった、ぬれふきんでふいてください。
●庫内底面は、必ず回転台をはずして行ってください。
●回転台を、はずしたときは、お手入れ後、確実に回転軸に差し込んでください。
●落ちにくい汚れは、ぬれたふきんをのせ汚れをふやかし、30分くらいしてからふいてください。

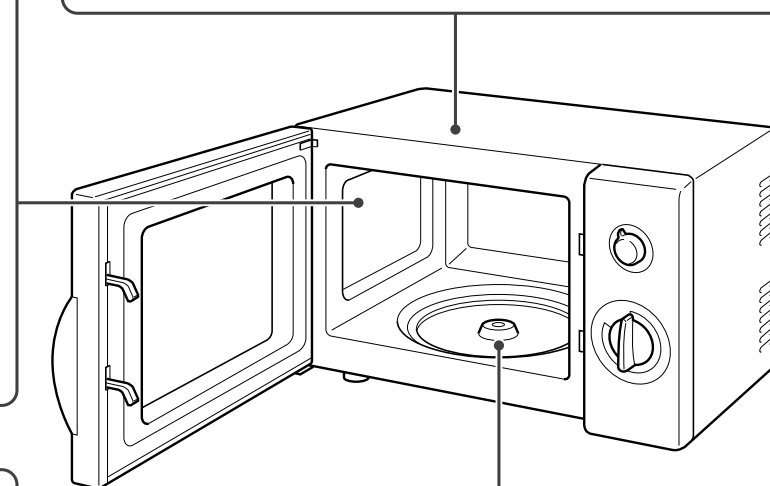
キャビネット・とびら

●かたくしぼった、ぬれふきんでふいてください。
●洗剤を使ったあとは、必ず洗剤分をふきとってください。

回転台・回転皿

●洗い桶などの中で洗ってください。流し台に強くあてると、流し台に傷がつくことがあります。
●スポンジたわしで汚れを落とし、十分に水気をふきとります。
また、回転皿の汚れが落ちないときは、水で薄めた漂白剤に一晩つけてください。
●回転台を取り付けるときは、回転軸に確実に差し込んでください。

回転台の取りはずしかた

●回転台の中央部をつかみ、軽く回しながら少しずつ真上に持ち上げます。
回転台の周囲を無理に持ち上げて、はずすと回転軸が破損したり、庫内の塗装がはがれることがあります。

お手入れのしかた（つづき）

お願い

- **洗剤をお使いになるときは、台所用（野菜、果物、食器、調理用具用）中性洗剤をうすめて使用してください。**

- 次のものは使わないでください。
  住宅家具用洗剤
  弱アルカリ性・アルカリ性洗剤
  弱酸性・酸性洗剤
  - とびらや、パネルおよび庫内壁面が損傷することがあります。

たわしや、オーブンクリーナー
クリームクレンザー
ベンジン、シンナー
漂白剤、熱湯など
- 塗装がいたんだり、傷つくことがあります。

可燃性ガス（LPGなど）入りスプレー洗剤
- 発煙、発火することがあります。

- キャビネットや、とびらに水をかけないでください。
  さびたり､故障することがあります。
- 庫内や電子レンジ本体の周りは清潔にしてください。
  虫類が入った場合故障の原因になります。
- 回転軸部へ食品くず等を落とさないでください。
  故障することがあります。
- 庫内は､食品くずや､汁をつけたままにしないでください。
  火花や煙が出たり、さびや悪臭が出て故障することがあります。
- 庫内は、傷つきやすいので、たわしやフォークなどの先のとがったものでこすらないでください。
- 回転台は使用後、急に冷却しないでください。
  変形することがあります。
- 加熱された回転皿に、急に水をかけないでください。
  発生する蒸気や、飛沫でやけどの恐れがあります。
- 回転皿は、落とさないでください。
  割れることがあります。
- 回転皿は､金属たわしや先のとがったもので､こすらないでください。

COOKING BOOK

もくじ

コツ

お料理を始める前に

- **掲載の写真は調理後の盛りつけ例です。**
- **料理写真と実物とは、室温・材料・初期温度・電源電圧などにより、仕上がりが異なる場合があります。**

メニュー編

電子レンジ調理のコツ

●くり越し加熱を上手に使って

レンジ調理では、加熱終了後食品内部にこもった熱が、他の調理器具（ガスレンジ）の場合よりも多く、加熱終了後もこの熱で、加熱されます。これがくり越し加熱です｡くり越し加熱の間は、食品が乾きやすくなるので、ラップ・ふたをしたままでおきます。

●形や大きさ・種類はそろえて

均一に仕上げるために、大きさはそろえましょう。

●ラップはふんわりと

ラップは熱に当たると縮む性質を持っています。ピンと張りすぎると真ん中から破れたり、急激にへこんだりする場合があります。ふんわりと余裕をもってかけましょう。

●食品の分量に合った容器を使って

食品を入れた時、8分目位になる大きさが適当です。

●調理時間は分量にほぼ比例

分量が倍になると加熱時間も倍近くになります。

1杯（150g×1）…約1分

2杯（150g×2）…約2分

●加熱しすぎに気をつけて

レンジ加熱では、食品の水分がとび、乾燥したり、かたくなることがあります。少なめの時間設定で様子をみながら加熱しましょう。

●目安時間として

調理時間は、食品の種類・形・量・大きさ・初温度・室温などによって多少異なります。料理集に示されている調理時間は一応の目安です。

●食品を取り出すときは

食品を取り出すときは、容器があつくなっている場合があります。気をつけて取り出してください。

メ　モ

修理を依頼される前に

修理を依頼される前につぎのことを点検してください。

現　　象	点　検　（処　置）
回転皿が右に回転したり、左に回転したりする。	●回転皿を駆動するモーターが左右どちらにも回転する性質を持っているためです。料理の出来上がりには影響ありません。
まったく動かない。	●停電ではありませんか。 ●差込みプラグが抜けていませんか。 ●ご家庭のヒューズやブレーカーが切れていませんか。 ●途中でとびらを開閉しませんでしたか。
つまみを回しても加熱されない。	●とびらがきちんと閉まっていますか。
回転台が回転しない。	●回転台を正しくセットしていますか。 ●回転台のローラーやローラー接触部に食品カスや食品汁がついていませんか。

引っ越しについて

■**電源周波数の変更の有無にかかわらず、必ずアース線を取り付けてください。**
（詳しくは、6ページ参照）

■**電源周波数（Hz：ヘルツ）の異なる地域へ引っ越しのとき**

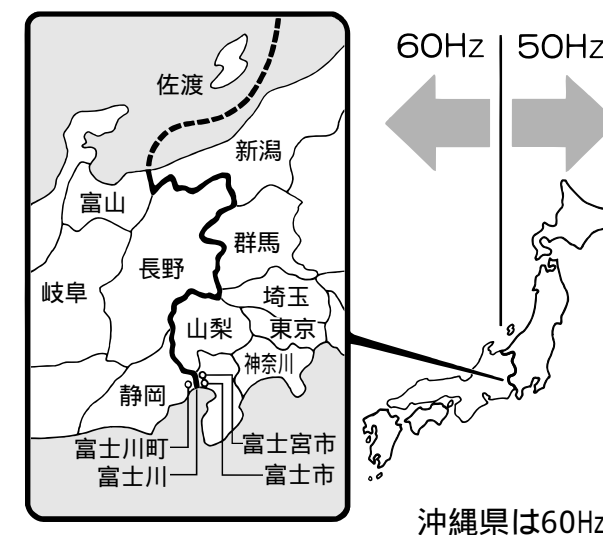
●下記部品の交換が必要になりますので、事前にお買い上げの販売店にご相談ください。（電源周波数は、本体の定格銘板に指定してありますので確認ください。）

●部品交換については、実費を請求させていただきます。

●部品交換をしないと、電気部品、機械部品に無理がかかり、火災の原因になったり、電気絶縁を悪くしたり、振動がはげしくなったりしますのでとくにご注意ください。

●交換する部品名：高圧コンデンサ
　　　　　　　　　タイマー
　　　　　　　　　高圧トランス

修理を依頼される前に・引っ越しについて

こんなときは

仕 様

電　源		交流100V　50Hz-60Hz各専用
定格消費電力		960W
高周波出力		500W／190W相当　出力切換
発振周波数		2450MHz
質　量(重量)		11.5kg
寸法	外　形	265(高さ)×460(幅)×322(奥行)mm
	庫内有効	192(高さ)×304(幅)×318(奥行)mm
	丸皿直径	272mm
	コードの長さ	1.4m
タイマー時限		15分

※この製品は、日本国内用に設計されています。電源電圧や電源周波数の異なる外国では、使用できません。また、アフターサービスもできません。

保証とアフターサービス（必ずお読みください）

ご不明な点や修理に関するご相談は

修理に関するご相談ならびに、お取り扱い・お手入れに関するご不明な点は
お買いあげの販売店にご相談ください。

転居されたり、ご贈答品などで販売店に修理のご相談ができない場合	新製品などの商品選び、お取り扱い・お手入れなどのご相談
東芝家電修理ご相談センター	**東芝家電ご相談センター**
フリーダイヤル 0120-1048-41	フリーダイヤル 0120-1048-86
	携帯電話・PHSからのご利用は 03-3426-1048（有料）

365日・24時間受付　※フリーダイヤルは、携帯電話・PHSなど一部の電話ではご利用になれません。

保証書(別添)

- この東芝電子レンジには、保証書を別途添付しております。
- 保証書は、必ず「お買い上げ日、販売店名」等の記入をお確かめのうえ、販売店から受け取っていただき内容をよくお読みの後、大切に保管してください。
- この東芝電子レンジの保証期間は、お買い上げいただいた日から1年です。ただし発振管（マグネトロン）は2年です。
その他、詳しくは保証書をご覧ください。

補修用性能部品の最低保有期間

- 電子レンジの補修用性能部品の最低保有期間は、製造打ち切り後8年です。この期間は通産省の指導によるものです。
- 補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

修理を依頼されるときは　出張修理

- 29ページの表に従って調べていただき、なお異常があるときは、使用を中止し、必ず差込みプラグをコンセントから抜いて、お買い上げの販売店にご相談ください。

■保証期間中は

- 保証書の規定に従って、販売店が修理させていただきます。なお、修理に際しましては、保証書をご提示ください。

■保証期間が過ぎている場合は

- 修理すれば使用できる場合は、ご希望により有料で修理させていただきます。

■修理料金のしくみ

修理料金は技術料・部品代・出張料等で構成されています。	
技術料	故障した商品を正常に修復するための料金です。
部品代	修理に使用した部品代金です。
出張料	商品のある場所へ、技術員を派遣する料金です。

■ご連絡いただきたい内容

品　名	電子レンジ	
形　名	ER-VS11	
お買い上げ日	年　月　日	
故障の状況	できるだけ具体的に	
ご住所	付近の目印等も合わせてお知らせください	
お名前	電話番号	訪問希望日
便利メモ（お買い上げ店名）		
	電話番号	

お買い上げ店名を記入されておくと便利です。

■ご転居のときは

- 電源周波数が異なる地域へのご転居のときは、部品交換が必要となります。詳しくは29ページ「引っ越しについて」を参照ください。

ご使用の際、このような症状はありませんか？

- 電源コードや差込みプラグが異常に熱くなる。
- 調理を開始しても食品が加熱されない。
- 自動的に切れないことがある。
- 使用中に異常な音や臭いが出ることがある。
- 庫内のカバーや壁面が汚れ、スパーク（火花）または煙が出ることがある。
- その他の異常や故障がある。

▶ **ご使用中止**

故障や事故防止のため、差込みプラグをコンセントから抜いて、必ずお買い上げの販売店に点検・修理を依頼してください。（技術のあるサービスマン以外の人は絶対にキャビネットをはずさないでください。）

株式会社東芝
家電機器社　レンジ・調理部
〒105-8001　東京都港区芝浦1-1-1（東芝ビルディング）

東芝電子レンジ

ER-VS11

株式会社 東芝